

平成26年5月19日

《ひぐちん通信》5月号 (vol.1)

日口鋼管株式会社

代表取締役 樋口浩邦

拝啓 新緑の候、貴社ますますご盛栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

今年から経営者が集まる勉強会に参加することになりまして、毎月通っております。講義の内容は、政治経済の話から経営者としての心構えなど様々ですが、その中から私の印象に残った内容を皆様にご紹介したいと思います。面白くなければゴミ箱へポイッ！で結構です（笑）。どうぞよろしくお願いいたします。

敬具

窮すれば即ち変ず、変ずれば即ち通ず、通ずれば即ち久し『易経』

（意味）行き詰ってどうにもなくなると、何かが変わらざるを得なくなる。何かが変わると、おのずと道は開けてくる。そして平和が訪れる。

（解説）困難に出遭っても、何かが変わるほど悩みぬけば、おのずと道は開かれるものです。だからあきらめて悩むことをやめてはいけません。

私はリーマンショック直前に土地を買収し、まさにリーマンショック真っ只中に工場を建設しました。今だから言いますが、あの時は本当に『窮す』でした。金融機関の融資を受け、何とか事なきを得ましたが、この苦い経験のおかげで私の中にひとつの『変ず』がありました。2009年2月17日に断酒を断行したのです。その結果、心身ともに健康を取り戻すことができ、今では若干の『通ず』にあり、たまに『久し』を感じる一瞬があるという具合です（苦笑）。

一世30年、企業の寿命は30年と申します。国家はその5倍の150年をもって衰退すると言われています。2018年は明治維新からちょうど150年目です。あと4年で日本はこのまま衰退するのでしょうか？この4年間で日本のシステムを変えないと、日本という国は消えてなくなるかもしれないという危機感を持つ必要があります。とても大変だけでも、見方を変えれば非常に面白い4年間でもあります。

安倍内閣は長期政権になります。安倍総理の主導するアベノミクスの成否が、日本の未来を大きく左右します。ただ安倍総理は運がいいです。日本は東洋史観という陽の時代（明るく経済活動が活発で、国力が上昇する時期）に入りましたし、2020年には東京オリンピックが開催されます。そういう追い風をバックに、日本を政治の側から変えていってもらいたいものです。

以上